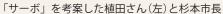
愛称「サーボ」について

相良原子力防災センターが、周辺住民に親しみを持ってもらえる施設となるよう、相良地区の皆さん および相良小・中学校の在校生を対象に、愛称を募集しました。

審査の結果、応募総数133作品の中から、植田獅星さん(相良中学校1年)の作品「サーボ」が採用 されました。これは、相良の「サ」と防災の「ボ」をとったもので、地域の皆さんに分かりやすく、 覚えてもらいやすい愛称となりました。完成式典で市からの感謝状を受け取った植田さんは「地域の 人たちが安心・安全に使えるような施設になってほしい」と話してくれました。







完成式典でのテープカット

原子力防災センターの設備・部屋など

- ▶陽圧化「空気清浄」装置=プレフィルターで砂塵などを除去し、メインフィルター(HEPA・活性炭)で放射 性物質などを除去します。放射性物質除去後の清浄な空気を施設内に給気します。
- ▶非常用発電設備=商用電源が喪失した場合でも、陽圧化装置などを稼働するための発電設備です。
- ▶**差圧計**=屋内の空気圧を測定して、陽圧化装置の稼働状況を把握します。
- ▶鉄筋コンクリート構造=建物の中にいることで、屋外からの放射線による外部被ばくはある程度防護できます が、鉄筋コンクリート構造の建物であれば、より効果的に放射線を防護できます。
- ▶鉛入りカーテン=窓部への設置で、放射線の遮へい能力を高めています。
- ▶気密性の確保=玄関出入口の二重扉化や、壁および窓枠などの補強により、気密性を高めています。



避難室 (会議室)



避難室 (和室)

エアシェルタ

(施設内に設



陽圧化「空気清浄」装置

収容可能人数=約260

■地頭方原子力防災センタ ■相良B&G海洋センタ約180人 年度完成) 収容可な■御前崎中学校体育館 [新設放射線防護施設] 和元年度完成) ーボ」(令和元年度完成 収容可能人 収容可能人 能人数= (平成30

■菅山小学校体育館 を展張するもの)] 度完成) したエアシェル 収容可能人数= タ (平成30年 (テント)

■養護老人 (平成28年度完成) 29年度完成) 八保健施設はるかぜ ム相寿園(平成

静岡市牧之原消防署 社会福祉施設 年度完成) (平成 27

[現地災害対策拠点施設]

年度中に完成見込み)。整備を計画しています(会的体育館(エアシェルター が避難する施設が不足して 完成済みの放射線防護施設 ていきます 今後も引き続き、 約250 エアシェルター)のの人の要配慮者などの人の要配慮者など 整備を進め (令和5

次々と

市では、原子力災害時に長距離避難が困難な要配慮者とその介助者が一時的に避難する 「放射線防護施設」を整備しています。完成した施設の概要などについてお知らせします。 問い合わせ 危機管理課 羽田敦 ☎30058



所在地	牧之原市須々木150番地
工期	令和3年6月~令和4年3月
事業費	6 億169万2500 円 *建物建設は国の補助金を活用しています (建築工事= 5 億7475万円、設計=1650万円、施工監理=1044万2500 円)
構造・規模など	鉄筋コンクリート(RC)造2階建 建築面積=737平方メートル、延べ面積=1434.25平方メートル *約250人収容可能
部屋・設備など	避難室8部屋(うち和室2部屋)、管理室、備蓄倉庫(資機材・物資)、機械室(陽圧化「空気清浄」 装置)、非常用発電設備(軽油)、鉛入りカーテン、給湯室、トイレ など

市内の整備状況

参集型避難施設が約1200人市全体では、要配慮者などの

は、相良総合センター ている多目的体育館の完成まで なお、 くださ

敷地内に整備を計画し

合などで利用可能な施設ですの 生活用品などを備蓄しています。 単難時に必要な水や食料のほか、 地域の皆さんはぜひ活用

けています。また、施設内に、を除去できる換気設備を取り付確保するとともに、放射性物質 (愛称「サーボ」)が完成しました。(愛称「サーボ」)が完成しました。 施設からおおむね半 確保するとともに、 る新設の要配慮者用放射線防護 避を行うための「放射線防護施げながら安全に一時的な屋内退 距離避難による健康リスクのあ 本年3月に、 を整備しています 助者など) 県内2番目とな の要配慮者 \dot{O} が、 リスクを下 -径5キ 原子

相良原子力防災センタ

市では、

(原子

11 MAKINOHARA 2022.05